

第1章 研究の背景と目的	1
第1節 研究の背景と概念整理	2
1.1 コミュニケーションに関する諸問題	
1.2 情動知能とは	
1.2.1 知能研究からの背景	
1.2.2 情動知能の概念について	
1.3 国内の情動知能研究	
第2節 情動知能測定尺度	7
2.1 国外における情動知能の測定尺度	
2.2 日本独自の情動知能尺度 (EQS)	
2.3 情動知能尺度 (EQS) の構成概念妥当性	
2.3.1 EQS と精神健康状態 (GHQ60) との関係	
2.3.2 EQS と5因子性格検査との関連性	
第3節 運動経験と情動知能	12
3.1 運動経験による心理的効果	
3.2 運動経験と情動知能の発達	
3.3 児童期の運動経験	
3.4 指導者の運動指導場面における情動知能への意識	
第4節 本論文の目的と構成	18
4.1 本論文の目的	
4.2 本論文の構成	
第2章 大学生の運動経験と情動知能の関連	21
第1節 大学生の運動経験と情動知能の縦断的变化 (研究1)	21
1.1 目的	
1.2 方法	
1.2.1 調査対象者	
1.2.2 調査項目	
1.3 結果	
1.3.1 運動経験の分析	

1. 3. 2	大学生の情動知能の縦断的な変化と運動部所属要因との関連	
1. 4	考察	
第2節	大学生の過去の運動経験による情動知能への影響（研究2）	29
2. 1	目的	
2. 2	方法	
2. 2. 1	調査対象者と調査時期	
2. 2. 2	調査内容	
2. 3	結果	
2. 3. 1	対象者の運動経験と情動知能	
2. 3. 2	各時期の運動経験が情動知能に及ぼす影響	
2. 4	考察	
2. 4. 1	対象者の運動経験と情動知能	
2. 4. 2	運動経験が情動知能に及ぼす影響	
第3章	児童期の運動経験と情動知能の関連	43
第1節	児童期の運動系の習い事と情動知能の関連性（研究3）	44
1. 1	目的	
1. 2	方法	
1. 2. 1	児童への情動知能と習い事に関する調査	
1. 2. 2	指導者による情動知能の他者評価の調査	
1. 3	結果	
1. 3. 1	習い事に関する結果	
1. 3. 2	EQSCに関する結果	
1. 3. 3	EQSC 教師評価版との関連	
1. 3. 4	EQSC と習い事との関連	
1. 3. 5	運動系の習い事が EQSC に与える影響	
1. 4	考察	
第2節	児童期の運動経験がもたらす情動知能への短期縦断的検討（研究4）	55
2. 1	目的	

- 2. 2 方法
 - 2. 2. 1 調査対象者と調査時期
- 2. 3 結果
 - 2. 3. 1 運動能力の変化
 - 2. 3. 2 教室の効果と EQSC の関連
 - 2. 3. 3 教室参加による男女差
 - 2. 3. 4 教室前後の EQSC 得点の変化と男女差
- 2. 4 考察

第 4 章 小学校教員の体育授業における情動知能と指導法に対する意識・・・65

(研究 5)

- 1 目的
- 2 方法
 - 2. 1 調査対象者ならびに分析方法
 - 2. 2 調査内容
- 3 結果
 - 3. 1 EQSC 教師評価版尺度と体育への意識
 - 3. 2 指導法に関する意識調査
 - 3. 3 体育の授業と情動知能の効果的な向上の意識の関わり
 - 3. 4 EQSC 教師評価版と指導法やコミュニケーションとの関連
- 4 考察

第 5 章 総合考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

第 1 節 本論文で得られた新たな知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

- 1 本研究の目的の再考
- 2 運動経験と情動知能の関連の縦断的な検討
- 3 過去の運動経験と児童期の運動経験が情動知能へ与える影響
- 4 運動経験がなぜ情動知能と関連を持つと考えられるのか
- 5 性別による運動経験と情動知能の関連の違いについて
- 6 指導者による情動知能への意識と指導法との関連

第 2 節 研究の課題と今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

第 6 章 結語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

引用文献

謝辞